

(端裏書)

「大谷九右衛門殿 牛尾金右衛門」

昨日^者御紙面令

拝見候、残暑之時分

弥御無事珍重存候

如來意頃日^者緩々

申承候、御帰懸同役共

方^江御越何角被申談

之由、拙者義^茂今日

兩人^江対談申^ニ付

貴殿事^与得申談候

何れ^茂能ク承知之

事候、此方油断無之

候之間、左様御心得可

有之候、当所へ帰着已來も

長々之儀何とそ急々

御評儀之事御世話可

申候、昨日近在へ罷越

御報及延引候、猶期

面上可申入候、以上

七月廿日